

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームサンシャイン

作成日 令和6 年6 月 1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 19 58	コロナ禍中は、外出を慎重に行い、イベントやレクリエーションは感染症対策を慎重に施設内での開催であった。	第5類に移行し状況が安定しているため、少人数からの外出や季節のイベントを立案し、参加していただく。	面会時間を設けた家族面会の再開。 お誕生日やイベント時に少人数からの外食、職員と一緒に施設とは違う空間を楽しんでいただいた。今後も継続開催。家族会なども検討する。	1年
2	32 20 61	筋力低下を予防し、利用者が個々が持てるADLを維持し、意欲の向上を期待し、各利用者様の意思を尊重し、心身共に健康で施設を過ごしていただく。	毎日の生活の中で、個々の残存能力を活かし、筋力低下を維持予防する。	毎月往診にて健康管理。毎日、お声掛けを車椅子利用の利用者様は、持ち手を持ち職員見守り下で、立位保持。歩行ができる利用者は定期的に外出や散歩を実施し、心身の健康をケアサービスを向上した支援を図る。	1年
3	3 4 62 63	運営推進会議の開催。地域や連携機関の強化。外部交流などの取り組みを更に取り組む。	感染症対策に留意しつつ、家族様や外部機関や地域との連携を深め、事業所のありかたや、法人もなくてはならない存在とする。	日々の家族様への連絡や各制度の手続きの補助や代行を行い、信頼関係を他事業所の付き合いや、連携機関との信頼関係を深め、今後の法人の位置を確立していく。	1年
4	5 13 56	法人理念の周知・BCP周知・身体拘束・虐待防止・感染症対策の法定に基づき定期開催。職員への研修を行う。	委員会を設置し、委員を選定し職員周知に努める。また、質の高い支援をすることを全職員で目標とする。	毎月の職員会議にて、利用者の状況共有・各研修を実施し、周知し、質の高い支援に取り組む。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。